



パシオン通信 8月号

この夏 猫が2匹増えました システム開発1部 O・S

7月1日に新しい仲間が増えました。5月初旬生まれの、キジトラの”さつき”とパンダカラーの”めい”という2匹の子猫です。お試しと言うことで連れてきたのですが、すっかりうちの子になってしまいました。春先から”ひまわり”の遊び相手を増やそうかと計画していたのですが、GWにワクチン接種で訪れた動物病院で”つい先日保護した子猫がいるんですが見ます？”と獣医が満面の笑顔で悪魔の囁を、とりあえず見るだけと言うことで連れてきて貰うことにしましたのですが、運ばれてきた段ボール箱には、まだ目も開いていない小さな猫が4匹入っていました。アパートの自転車置き場に放置されていたそうで、もう少し保護が遅れていれば全滅だったろうという話です。元々、ひまわりの遊び相手がいたら良いなと思っていたので、キジトラのメスを1匹引き取ること決めて、その日は引き上げました。

犬には、”アリス””ジーナ””シンディ”と外国風な名前をつけていたのですが、猫は和風な名前と決めていて、5月生まれだから”さつき”にしようかと割と簡単に決定しました(ちなみに”ひまわり”は8月生まれです)。

その後、2週間毎に成長度合いの確認に動物病院を訪れていたのですが、6月に入ったころ、もう1匹のメス猫にはまだ引き取り手が決まっていならしく、2匹引き取りませんか～？的な空気感がまわりつくように感じられるようになってきた

のですが、6月中旬には、じゃあ2匹とも引き取ろうかと言う結論が出ていたのです。ジーナが1頭だけかわいそうだったこともあり、姉妹で育ててみたいという希望もあったので。

引き取ると決めたら名前をどうしよう？やっぱり、”さつき”ときたら”めい”だと単細胞夫婦は即決です。ちなみに、あのアニメではカタカナ表記ですが、我が家はひらがなです。早めに名前を決めて獣医さん達に名前を呼んでもらえば、生き物がいるのは心が穏やかになって良いのですが、あちこちよじ登ったり、爪とぎしたりと家の中が荒廃していくのが恐ろしい。と警戒していましたが、思ったより悪さをしないのでホッと安心です、ただし、”ひまわり”が相当とぼっちりを食らっています。子猫といえども姉妹で徒党を組んで来られると、かなり体格差(体重は1kgVS4kg)があっても圧倒されてしまいます。ただ、ここ2・3日は尻尾で遊んであげたり、全体重でのしかかって押さえ込んだりと、お姉さんらしさを感じられるようになってきて、見ていて飽きません。今年の夏は猫みれで楽しく過ごせそうです。



目次	
この夏猫が2匹増えました	1
アトムへの遠い道	2
お腹が凹んだ夢を見た人為的ミスが起きる時	3
社員旅行2日目フリーおすすめスポット	4





アトムへの遠い道 システム開発1部 Y・T



誰でも知ってる手塚治作の名作マンガ・鉄腕アトム。

100万馬力の心優しいロボットで、原作の中では2003年が生ま

れた年だそうですが、実現していればとくに誕生しているはずなんです。気がつけば既に21世紀に入っ16年も経っているから驚きです。

子供の頃、雑誌で見た21世紀の世界はガラスのチューブの中をリニアモーターカーが走り、自動運転のエアカーが縦横無尽に飛び交い仕事や家事は全て忠実なロボットがやってくれて、エネルギー問題や公害も解決して超音速旅客機で日帰り世界旅行をして宇宙ステーションからの月旅行が当たり前で・・・

うーん、ちょっと追いついてないですね。

かろうじて自動運転と簡単なロボット、一瞬の宇宙旅行（それでも庶民にはとても行けません）が少し形になって来た感じでしょうか？一方で携帯電話・スマートフォンやインターネットに限っては昔の人の予想を遙かに上回る進歩をしているのをお気付きですか？

スター・トレックのミスタースポックもスターウォーズのジェダイの騎士達もガンダムの赤い彗星のシャアも、スマホどころか携帯電話すら持って無いんですよ？ 未来のアイテムって日常に使ってると実感ないですね？

ちょっと横道にそれましたが、現在の技術ではさすがに100万馬力も空を飛ぶ事も出来ませんが、なんとなく二本足で立ち人間っぽい動きが出来るロボットができつつあり趣味でパーツを集めてロボットを組み立てるなんてホビーも誕生しています。

HONDA社がASIMOという二足歩行が出来るロボットを開発し世の中をアッとさせたのが遠い昔のようです。

この頃ではPepper君も普及し街中の店舗で受付やら商品の案内なんかを健気にこなしているのを見ると「ああ、ちょっと未来っぽい・・・」と感慨深い物があります。ところで、Pepper君って人の顔を見るとジッと見つめ返すんですよね。ちょっと気まづくなりませんか？

さて、アトムですがハードウェア的には冒頭の能力を全部搭載するのは無理ですが、高度な制御が出来る高出力モーターや高性能なセンサー、プログラム技術の進歩とエンジニア達の血の滲む様な努力のおかげで、もうチョットで何とか形になりそうな所まで来ているのではないのでしょうか？ 一方で肝心の「心」の部分はまだまだ遠い道のりです。

心をソフトウェアとして考えればプログラミング言語で

人工知能を駆使して膨大なデータベースと学習機能を使い、IF文やCASE文の様な判断・分岐を動的に繰り返し組み合わせれば何となくソレっぽいものが出るのかもしれない。

（あくまでも素人の想像ですが）例えば人との会話の中で文脈、音声の抑揚、相手の顔の表情と前後の会話の流れから人工知能を使い相手の感情を判断し、ビッグデータから人間はどんな反応をするかを抽出し行動を決定するといった具合です。

猫のロボットであれば、飼い主の顔を人工知能で「笑顔」と認識し且つ「頭をなでてくれる」というインプットがあれば擦り寄って、嬉しそうな鳴き声を出すというアウトプットを作れば、あたかも本物の猫が飼い主に懐いていて喜んでいるという風に見えるかも知れなく、そこに感情が有るような錯覚を受けるのでは無いでしょうか？ こんな風に感情を理解するロボットは実現できても、そこに有るのは「心」じゃ無いですよね。

では本当の「心」や「魂」や「意識」って何でしょう？ 残念ながら、まだ誰にもわかっていません。

それが解明されてしまう事の善悪は分かりませんが脳の中の電気信号と化学物質による反応、神経細胞やシナプスの働きなどなどの働きや脳の部位ごとの役割などは解明されつつも、いまだに魂や心の正体は神秘の彼方です。

仮に心が人工的に作り出せたとしても次はロボットに心は必要か？という議論になるんでしょうね。アトムの作品中でもロボットに心は必要か？自分は何者なのか？なんてアトムが悩むシーンがあったような気がします。産業用や仕事のアシスタントとしてのロボットならば「心」は不要なのかもしれませんがペットやパートナーであればチョット空しいと感じてしましまうのはロマンでしょうか？

いずれにしても心を持たない人工知能だけのロボットが人類を滅ぼすべく闊歩する映画ターミネーターの様な世界だけはお断りしたいところです。奇しくも、とある人工知能の研究で異なる人工知能同士がお互いに言語の様な物を作り何らかの会話をしていたというトピックを何処かで読んだのでこんな記事を書いてみました。将来、ロボットの人工知能達が会話をして「人類って要らなくね？」って事に気付いてしまう悪夢が起こるかも・・・

アトムの誕生にはまだ時間が掛かりそうですね。





お腹が凹んだ夢を見た システム開発2部 W・M



昨年の健康診断を11月に受けたので8ヶ月が過ぎようとしています。これといって特に健康上で気になるところは無いけれど、一点だけ。お腹が出る。苦しい。

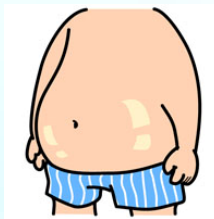
どうもここ半年で体重が5~6キロほど増加しているという事実を先日、銭湯で突きつけられた。今年のパシオン通信1月号では自身の体型についてお腹が凹んだと書いている。今、その同じお腹を眺めているがどうみても膨らんでいる。いったい、何が起こったのだろうか。

50歳を過ぎて基礎代謝が落ちてきたのかなとか、食べすぎか、はたまた、運動不足かと原因を探してみるが、どう考えても自分以外にこの責任を押し付けるのは難しそうだ。

強いて言えば、昨年の秋からタバコを一時休憩して、食欲が増しているのはあるかもしれない。

諦めも肝心という言葉もあるが、私は痩せているように見えながら体脂肪率が20%超えの隠れ肥満ゆえ、諦めると、恐らく体の何処かに支障がでるような気がする。そして、全体的に大きくなるなら良いが栄養失調のようにお腹だけがポコっとした体型になってきている。

そこで、次の健康診断までに少しでも体重を戻すべく決意した。



ひとつは、基礎代謝を上げるために、筋力アップを計ろうと朝起きたら、腹筋、腕立てとストレッチをやるぞとの思いで、取り合えず、今日からスタート。やってみるが、腕立てとか、腹筋がいつの間にか出来なくなってる自分がいる。辛い。とりあえず、今後も（出来る日は）やるつもり。そして、ダイエットといえば、有酸素運動。これは、ウォーキング好きなので会社帰りに歩ける日は1時間ちょっと歩く。会社から和田町駅とか上星川駅くらいまで歩くと、歩いたなって感じがする。以前は、朝、出勤時に天王町とか西横浜で電車を降りて歩いてたが、今の時期は暑いので汗をかいても家に帰るだけの帰りに歩くことに。たまに途中のラーメン屋に捕まるので歩く意味が薄れているが、歩いたことへのご褒美も必要（と思う）。それにしても電車ってあつという間に目的地に着く、便利な乗り物だなんて歩いてみると感じる。そして何よりも、摂取カロリーを減らさないといけないと思うが、これは、一番、難しい。食べることと夜のアルコールは、減らせないような気がするので現状維持で。こんな感じで次の健康診断まであと3ヶ月ちょっと、やってみて結果をみたい。

（今、この記事を書いていて気づく。自分に甘すぎるのが、そのままお腹に反映されている、だな。多分。）

「人為的ミスが起きる時」

セキュリティ委員 W・M

ヒューマンエラーと言われる人間が原因で起きる仕事上のミスやセキュリティ・インシデントなどは、意外と多い。例えば、会議資料の誤字、脱字といった簡単なミスから、商品注文時の金額や数量の入力ミス等、経営に影響が及ぶような大きなミスまで日常作業で発生するリスクはゼロではない。最近、身近で発生しているセキュリティ・インシデントである「入館証紛失」や「メール誤送信」なども人為的な要因が大きいかもしれない。これらには人間がやることだから「ミスは仕方ない」では済まない事も沢山ある。特に人命に関わることや大きな金額損失に繋がることなどである。このような絶対に起きたら困ることについては、事前にリスクアセスメントを実施し、時間とお金を掛けて十分な対策を講じる必要があると思う。但し、全てのリスクに対して同じように対応するのは現実的では無いと思う。ただ、作業ミスやセキュリティインシデントが起きると大きな影響が無かったとしても原因究明やら再発防止策の検討、更に関係各所へのお詫びや説明など、負担は大きい。今回は、このようなミスを減らすために、どういった状況でミスは起き易いのかを考えてみたい。ひとつは、焦り。締め切り間近で時間が無いとか、電車に乗り（降り）遅れそうとか、兎に角、確認する余裕がないときにミスは発生しやすい。また、作業の慣れ。これも結構、ミスに繋がります。自分への過信からミス防止の意識が低下してしまうようです。また、「これくらい問題無いでしょう」といった自分への甘さも要注意。これらを意識することによって人為的ミスは減らせるはずですよ。

「焦っている（急いでいる）時は**危険!**」
 「作業に慣れてきたら**危険!!**」
 「これくらいなら大丈夫と思ったら**危険!!!**」
 みんなでミスをひとつでも少なくしましょう。





社員旅行2日目フリーおすすめスポット システム開発1部 M・S

今回は、何社かの旅行会社の話を聞いた中で社員旅行中に行ってみたいな、気になったなと思った場所を紹介したいと思います。

★ 海遊館 (●地下鉄中央線「大阪港駅」より徒歩5分)

<http://www.kaiyukan.com/index.html>

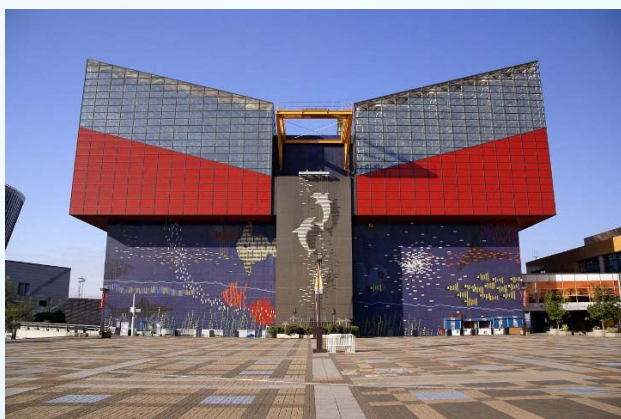
旅行会社の方々が必ず、この海遊館をオススメしてくるので気になっています。自分的には、ラッコとアザラシが好きなのですが、両方とも居るのがポイント高いです。ちなみにアザラシは近くで見られる場所があるそうです。



★ 清水寺 (●京都市交通局(市バス)206系統・東山通北大路バスターミナルゆき、100系統清水寺祇園 銀閣寺ゆきで五条坂下車、徒歩10分 ●京都バス(土・休日のみ運行)18系統・大原ゆきで五条坂下車、徒歩10分)

<http://www.kiyomizudera.or.jp/>

「この時期は紅葉がとても綺麗でオススメですよ」と説明を聞き、行ってみたいなと思いました。10月、11月は紅葉シーズンなので人が多く、交通機関がめちゃくちゃ混むらしいので少し気が引けますが、当日に勇気があったら是非とも見に行きたいと思います。



★ 道頓堀 (●地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線「なんば」駅、阪神電車・近鉄「大阪難波駅」14番出口からスグ。 ●地下鉄堺筋線・千日前線「日本橋」駅2番出口からスグ)

<http://www.dotonbori.or.jp/ja/>

「大坂に行くならここは外せませんよ」と熱く説明をされたので行ってみたいなと思っています。前に大坂に行った時にはあまり食べ物を食べられなかったのですが、本場のたこ焼きやお好み焼きを食べてみたいです。ちなみに調べてみて評価が高かったお店は、お好み焼きだと「美津の」、たこ焼きだと「たこ八」でした。



以上がおすすめスポットです。
時間がありましたらぜひ行ってみてください。



本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。

本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにご容赦いただきます様お願い致します。